

「チャレンジ作文の書き方」

(これは、書き方の例の一つで、自由でかまいません。)



- ① まず、「よしっ!」と書く気持ちをもとう。
- ② これまでがんばってきたこと、今、がんばっていることの中から、書きたいことを決めよう。(一つ選んでもいいし、全部のことを書いてもいいよ。)
- ③ おっと、作文用紙は用意したかな。作文用紙がうちにある人はそれに書こう。ない人は、はやま歯科医院の前の箱に入っている作文用紙を使ってもいいよ。
- ④ 作文用紙が用意できたら、書きたいことにピッタリのだいたい(タイトル)を決めよう。(例 「わたしが挑戦した〇〇」「〇〇といっしょにがんばった〇〇」「楽しかった〇〇」「つらかった〇〇」など)
- ⑤ はじめの行は、3マスあけてタイトルを書きましょう。
- ⑥ 2行目には、下の方に学年となまえを書きましょう。
- ⑦ 3行目から、いよいよ作文のはじまりです。書き方は自由ですが、まず、1マス空けて書き出します。学校が休みになってしまったときのことや気持ちを書いてみるのもいいでしょう。
- ⑧ つぎに、〇〇にチャレンジしようと思った、また決めた時のきっかけや気持ちを書いてみましょう。
- ⑨ チャレンジはそんな簡単にはいかなかったはず。うまくいかなかったこと、くじけそうになったこと、でもそれでも続けようと思ったきっかけやできごと、だれかのアドバイスなど、できるだけその時の自分の心の中の気持ちをくわしく書いてみよう。
- ⑩ そして今、がんばって続けている君のことや気持ち、そしてそれをささえてくれている家族のことなど、くわしく書いてみよう。
- ⑪ そして最後には、今回のチャレンジを通して思ったこと、できるようになったこと、これからの決意を、すなおな気持ちで書いてみよう。これで、完成!
- ⑫ でも、ここからが大切。書いた作文を、まずは自分で、声に出して読んでみよう。きっと、「ここを直せば、もっとよくなる」ところが見つかるよ。
- ⑬ つぎに、うちの人の前で読んで、聞いてもらおう。きっと、いいアドバイスをもらえるぞ。
- ⑭ これで作文は完成です。
実はこの作文を書いたこと自体が、君のチャレンジだ。コロナに負けず作文にチャレンジした君に、まずは拍手を送りたいと、校長先生は思います。(パチパチ……)
- ⑮ それでは、登校初日の提出を楽しみに待っているよ。



行け行けドンドン校長 池戸 龍一